



ROTARY INTERNATIONAL

1995年10月20日

No. 5

Governor's Monthly Letter



クラブ会長・幹事殿控

『ロータリー財団月間』— 11月



1996～'97年度ロータリー財団奨学生のガイダンス開催

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 石川和昌 / DISTRICT 2760 Governor Kazumasa ISHIKAWA

〒440 豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内 PHONE (0532) 53-0666 FAX (0532) 53-0667

“ 感動と出会いを求めて 東海市で会いましょう ”

— 11 月は R 財団月間 —

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 石川 和昌

天高く稔りの秋たけなわ…各地区では一斉に地区大会が開かれております。既にご案内の通り、当第2760地区におきましても来る11月11、12日の両日に亘って東海市市民体育館で今年最大の地区イベント地区大会が開催されます。

国際ロータリー ハーバート・G・ブラウン会長はこの地区大会に会長ご夫妻代理として国際ロータリー第2580地区パストガバナー加美山節、愛子ご夫妻を指名されました。加美山ご夫妻にはご多忙の中を来訪され、ブラウン会長の本年度のテーマ及びロータリーの現況について親しくご指導頂くこととなっております。

今年度、ブラウン会長は三つのテーマ“真心の行動”“慈愛の奉仕”“平和に挺身”を掲げられ、重点目標として会員増強、ポリオプラス、家庭の大切さについて考え、行動することを要請されています。更に今次大会に際してはメッセージを寄せられ「家族のよりよい未来のため、クラブ、地域社会、そして我々が住む世界のために夢を描き、その夢を確かなものにすべく勇敢な選択を行い、一層奮起するよう」希望しておられます。

今年度、地区ガバナーとして、私のターゲットは“簡素化”であります。組織はそのまま放っておけば肥大化の方向に進みます。ロータリー

と言えども例外ではありません。時々振り返って、時には休むことも、時にはスリム化することも必要であると言うのが私のロータリーに対する思いであります。

このブラウン会長のテーマと私の思いを具現すべく地区大会ホストを務めて頂きます東海ロータリークラブはクラブを挙げ、大会成功に向けて諸準備を進めておられます。服部義則大会実行委員長、加古嘉明大会幹事、河合博文クラブ会長、小島清路幹事をはじめ全会員64名が一丸となって、活力とぬくもりあふれるロマン都市東海市で、感動と出会いをもとめて皆さんの参加を待ち望んでおられます。簡素でしかも爽やかな大会を開催すべくご尽力頂いているのであります。その意味からも是非、1人でも多く参加し、友情を深め、奉仕の実を行動に移そうではありませんか。

一方、11月はロータリー財団月間です。その目標は人道的プログラム及び教育的プログラムに補助金を授与することによって世界の人々の間に理解と友好関係を増進することです。改めてその重要性を認識し、財団への今後一層の寄与をお願い申し上げるとともにクラブ、個人を問わず今迄に寄せられたご好意に対し、深甚な感謝を申し上げる次第であります。

ロータリー財団月間を迎えるにあたり



地区ロータリー財団委員会
委員長 矢島 茂

まずもって、例年ロータリー財団活動に格別のご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

ご承知のとおり、国際ロータリーは、あらゆる職業において道徳的水準を高めることを奨励し、各ロータリアンの善意をもって世界理解と平和の推進をはかってまいりました。

そして、ロータリー財団は、国際ロータリーとは別に組織された非営利的財団法人ですが、世界で最も大規模かつ国際性を備えた人道的プログラムと教育的プログラムを通じて、国際ロータリーの奉仕活動を支援してまいりました。

当地区財団委員会の活動は、財団本部への「寄付金拠出」、地区が選択した財団プログラム「国際親善奨学生」、元奨学生と元GSE参加者で結成された「学友会」が3本の柱です。

1) 財団への寄付金目標

- ①年次寄付 会員1人当年間100ドル並びに
対前年寄付額4%アップ



「留学の手引き」表紙より

- ②基金寄付 会員50人当りベネファクター1名

- ③指定寄付 ポリオ・プラスなど地区目標は設定しないが、善意の寄付を期待。

なお、前年度寄付の集計は、ロータリーの友11月号をご覧になって下さい。

2) 国際親善奨学生の募集

シェアシステム実施年度3年目の奨学生募集の地区プログラムは、次のとおりです。

- 11月1日 募集予告ポスターの配布
- 12月4日 DDF選択プログラムの決定
- 1月22日 1997～'98奨学生募集ポスター配布
- 2月8日 地区財団セミナーの開催
- 3月1日 各クラブ奨学生申請書受付開始
- 3月31日 同 上 受付締切り
- 4月30日 ガバナー事務所申請書受付締切り
- 6月1日 奨学生選考試験

3) 学友会の活動

元財団奨学生で業績顕著な方に送る業績賞と優秀賞各1名を推薦し、カルガリー国際大会での受賞式に参加する予定です。学友会編集委員会は、奨学生のための「留学の手引き」を編集8月に刊行、学友会会員名簿の最新版発行など後輩の指導と共に活発な活動を行っています。

11月はロータリー財団月間です。

各クラブにおかれては、財団についての例会プログラムを組まれ、ロータリー財団へのより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ロータリー財団奨学生のガイダンス

「ロータリー財団奨学金について」



地区財団奨学金
(小)委員会

委員長 長谷川二郎

ロータリー財団の教育的プログラムの一つとして国際親善奨学金が設けられております。

これは民間レベルとして世界で最も大きな奨学金が費やされているばかりでなく、この制度で派遣される奨学生はAmbassadorial Scholarship 即ち非公式であります。親善使節として行動することが望まれております。それだけに奨学生を選考する際には応募者の語学力を始めとする資格と資質について厳重な審査が行わ

れます。

1996～'97年度の奨学生につきましては本年7月に既に選考されましたが、2年間留学生は11名、1年留学生は10名であり、いずれも語学力はもちろんのこと、しっかりとした目的意識を持ち、人間的資質も優れかつロータリーの何であるかを真剣に学ぼうという姿勢が強くみられる方であり、選考委員一同大きな期待を寄せますと共にこのような人材を選べたことに対し推薦クラブに対し感謝を致しております。

このように優れた人材ではありますが、それぞれの目的を達成するためにはいろいろな問題が山積みすることでありましょう。したがって推薦クラブのカウンセラーのみならず、すべてのロータリアンの方々がこれら奨学生に対して激励と支援をして頂くことを切にお願い申し上げます。

「ロータリー財団学友会について」



地区財団学友会
(小)委員会

委員長 梅村 東

財団学友会は、R財団による留学、研修等の計画に参加した元奨学生、元研究グループ交換者(GSE)など、つまりOBまたはOG(以下学友)で構成された組織でその目的は学友相互の交流と親睦を深め、更に今後国際親善奨学生として各国に派遣される奨学生の皆さんに多方面にわたりアドバイス又はサポートを行う一方、帰国

後も留学の経験を生かし国際理解と親善、友好に寄与することであり。現在1996年度合格者21名を含め古橋代表幹事はじめ225名の学友で構成されております。学友会の主たる活動につきましては①新奨学生のためのガイダンス及びオリエンテーション②新奨学生の地区大会への参加③杜行会並びに学友会総会④R財団月間での各クラブでの卓話⑤R財団奨学制度のPR⑥学友の名簿作りと維持管理などがあります。財団学友の皆さんは留学から帰国後も国際親善使節の役割を引き続き実践され、国内外を問わず多方面で活躍されておりますが、今年度より新たにR財団によりまして元財団奨学生に対する学友賞(業績賞及び優秀賞)が創設され当地区からは、優秀賞に1971～'72年度奨学生春田洋子

さん(通訳、翻訳、プロジェクトコーディネーターなどで活躍中)を、業績賞には1981～'82年度奨学生の松尾葉子さん(オーケストラ指揮者)を石川ガバナーを通じて推薦させて頂きました。お二人とも大変優秀で現在も元財団奨学生としてご自分の職業を通じて国際理解と平和の増進に貢献されており、必ずやカルガリーで開催される

国際大会で受賞の栄に浴するものと期待致しております。今後ともR財団奨学制度を通じて益々の学友会の発展と奨学生及び学友の皆さんのご活躍を祈念するとともに委員会としてこの主旨に沿って少しでもお役に立つべく委員の皆様共々努力してまいりたいと思います。今後ともよろしくご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

1996～'97年度 ロータリー財団奨学生のガイダンス

日時／平成7年8月6日(日)

会場／名古屋毎日ビル国際サロン

地区財団学友会(小)委員長 梅 村 東

〈ガイダンス次第〉

1. 開 会
2. 地区役員、並びに学友会出席者の紹介
3. 石川ガバナーご挨拶、
松本ガバナーノミニーご挨拶
4. 星野財団カウンセラーご挨拶
5. ガイダンス
(I)R財団について、矢島委員長
(II)奨学金について、長谷川(小)委員長
6. 奨学生自己紹介
7. 財団学友からのアドバイス、質疑応答
8. 懇 談
9. 地区役員からの激励及びアドバイス
10. 閉 会

1996～'97年度R財団奨学生のためのガイダンスが、石川ガバナー、松本ガバナーノミニーはじめ地区役員12名と、古橋代表幹事他、10名の学友並びに16名の奨学生の皆さんの出席を頂き開催されました。石川ガバナーよりR財団奨学生としての自覚並びに当ガイダンスを通じて個々の留学に対する不安や問題点を、少しでも解消すべく有意義な会にして欲しいとのご挨拶を頂きました。又松本ガバナーノミニーからはR財団奨学生の目的などについてお話があり親善使節としての役割を強調、激励されました。

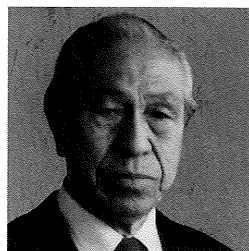
星野財団カウンセラーからはそれぞれ奨学生が直面している疑問をこの場でぶつけて頂き実りある会にして欲しいとのお話があり、引き続きガイダンスに入り矢島R財団委員長、長谷川奨学金(小)委員長よりそれぞれの立場から指導、アドバイスがなされました。その後出席学友の皆さんから各々の体験に基づいての話し、あるいは質問に対しての応答がなされました。奨学生からはこれからの準備を中心に留学への心構えなど様々な質問がなされ先輩学友、地区役員の皆さんと活発な意見のやり取りが行われ、奨学生の皆さんにとりましては大変有意義な一時になったことと思われます。最後に地区役員の方々から奨学生に対し期待と激励の言葉が贈られ会が閉じられました。



学友からのアドバイス

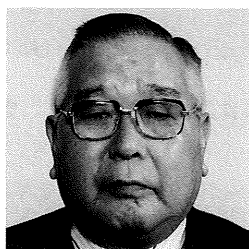
公式訪問だより

〈会長の目標〉



名古屋守山 R. C.
1995年8月31日(木)
名古屋都ホテル
会 長 桑島 秀雄
幹 事 中島 一郎
会員数 89名

例会運営について……親睦を深めて簡素化。
R.I.会長賞に挑戦する。
増加会員2名目標。
ローターアクトクラブの運営に努力する。



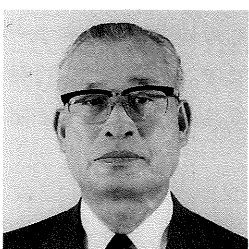
蒲郡 R. C.
1995年9月1日(金)
蒲郡プリンスホテル
会 長 伊奈作一郎
幹 事 中村 仁
会員数 79名

- ・ブラウン R.I.会長—3つのテーマ推進。
- ・「人生生き生き、ロータリーを楽しく」が運営方針
- ・2005年ポリオ撲滅宣言に向けて会員の理解と認識。
- ・R.I.会長賞に挑戦する。
- ・増加会員5名目標。



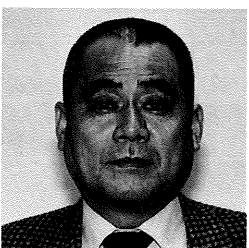
名古屋 R. C.
1995年9月5日(火)
名古屋観光ホテル
会 長 白石 信喜
幹 事 祖父江重久
会員数 225名

1. R.I.の基本理念とクラブの格式伝統を尊重し、時代の変化に柔軟に対応する。
2. 親睦と友愛をはかる為、楽しい例会づくりに努力する。
3. 会員増強に努める。増加会員4名目標。
4. ポリオ・プラス問題について協力善処する。
5. R.I.会長賞に挑戦する。



名古屋名駅 R. C.
1995年9月6日(水)
名鉄ニューグランドホテル
会 長 加藤 清
幹 事 柘植 守
会員数 81名

1. 今年は創立5周年記念行事を'96年4月に行う。
2. 「親和を深めて共に行動しよう」との会長方針のもとに充実した活動を行う。
3. 会員増強に努める。増加会員3名目標。
4. R.I.会長賞に挑戦する。



江南 R. C.
1995年9月7日(木)
江南商工会館
会 長 岩田 進
幹 事 江口 量候
会員数 72名

1. 姉妹クラブ潮州、熊本江南との友情を深める。
2. R.I.会長賞に挑戦する。
3. 環境保全委員会活動とR.C.C.活動を強化推進する。
4. I.M.、ローターアクト年次大会、交換学生の受け入れ、送り出しを成功させる。
5. 会員相互の親睦を重視して明るい楽しいクラブに専念する。増加会員3名目標。



尾張旭 R. C.

1995年9月8日(金)

尾張旭商工会館

会 長 富 田 晃

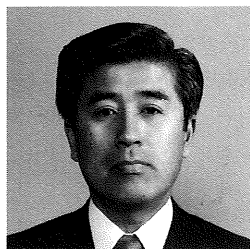
幹 事 横山 邦晴

会員数 68名

R.I.会長賞に挑戦する。

増加会員5名目標。

青少年育成基金（OFDY）の基金の充実。



刈谷 R. C.

1995年9月11日(月)

刈谷商工会議所

会 長 加藤 英二

幹 事 宮田 隆夫

会員数 88名

1. かけがえのない地球の将来に思いをいたし、環境悪化への歯止めを呼びかける。
2. 5%の会員増強。
3. R.I.会長賞に挑戦する。



岡崎城南 R. C.

1995年9月12日(火)

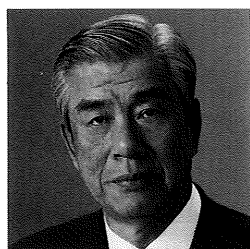
岡崎ニューグランドホテル

会 長 野村 栄三

幹 事 加藤 順弘

会員数 78名

1. 例会の充実：明るく楽しい心の通う全員参加の例会としたい。
2. 会員のロータリー知識の吸収充実：各委員会のリーダーで勉強会の実施。
3. 親睦活動の充実：会員相互のコミュニケーションを深めるため一泊旅行(例会)の実施。同好会活動の活発化。
4. R.I.会長賞に挑戦する。増加会員3名目標。



名古屋南 R. C.

1995年9月13日(水)

名古屋観光ホテル

会 長 舟橋 正輝

幹 事 近藤 雅夫

会員数 121名

- ①会員の増強。増加会員3名目標。
- ②ホームクラブ出席率の向上。
- ③奉仕活動の充実と活性化。
- ④クラブの将来のビジョン作り：A長期ビジョン協議会と連携。
- ⑤クラブ創立40周年に向けての準備。
- ⑥R.I.会長賞に挑戦する。



名古屋東南 R. C.

1995年9月14日(木)

名鉄グランドホテル

会 長 片山 主水

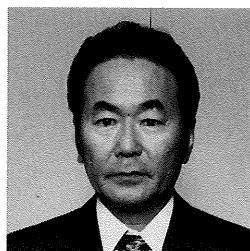
幹 事 佐久間貞介

会員数 81名

1. 会員増強。増加会員3名目標。
2. 出席参加の奨励。
3. 親睦の強化。
4. R.I.会長賞に挑戦する。

公式訪問だより

〈会長の目標〉



豊田西 R. C.
1995年 9 月18日(月)
ホテル豊田キャッスル
会 長 為末 勝清
幹 事 小幡 輝雄
会員数 102名

1. 創立 25 周年記念行事の実施。
2. 地球社会に対する提言を具現する。
3. “ロータリーは何であるか？”会員と共に考える機会をもつ。
4. クラブの親睦を高め楽しい人間関係を目指す。
5. 豊田地区他クラブとの連携を計りたい。
6. 以上の実績を出来得る限り広報活動する。
7. R.I.会長賞に挑戦する。増加会員 3 名目標。



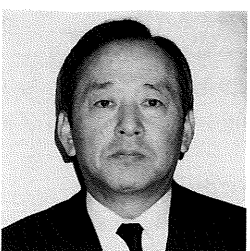
瀬戸 R. C.
1995年 9 月20日(水)
瀬戸商工会議所
会 長 増岡 錦也
幹 事 澤田 賢成
会員数 80名

- ①R.I.会長賞に挑戦する。
- ②会員の増強。増加会員 4 名目標。
- ③国際ロータリー組織の理解。



豊田 R. C.
1995年 9 月21日(木)
ホテル豊田キャッスル
会 長 河原 宏是
幹 事 須賀 豊松
会員数 97名

- ①創立 35 周年記念行事。
- ②例会の出席率の向上。
- ③西三河第一分区 I.M.への積極的参加。
- ④R.I.会長賞に挑戦する。
- ⑤増加会員 3 名目標。



知多 R. C.
1995年 9 月25日(月)
八幡神社会館
会 長 森田 齡二三
幹 事 須藤 良行
会員数 49名

- ・新会員との交流を深め委員会活動への参加を促す。
- ・会員増強の積極推進 増員目標 10 名。
- ・親睦活動への積極推進。
- ・W.C.S.活動 10 名のタイ訪問団を結成。
(11月23日～27日訪問)
- ・青少年の健全育成のための助成。
- ・R.I.会長賞に挑戦する。



犬山 R. C.
1995年 9 月26日(火)
名鉄犬山ホテル
会 長 田中 宗太郎
幹 事 水谷 欽一
会員数 78名

1. 積極的な会員増強に努める。増員目標 3 名。
2. 連帯を深める為、年 2 回の家族例会を行う。
3. ちびっ子警官の制服20着作成し交通事故や犯罪防止の啓蒙運動を行う。高齢者に夜間反射板6000枚作成。木曽川の水を守る運動。
4. ボーイスカウト23名を台湾草屯 R C へ派遣。ポリオ・プラスに協力及び W.C.S.運動に協力。
5. R.I.会長賞に挑戦する。

1996～'97年度 第1回地区国際奉仕委員長会議

日時／平成7年9月4日(月)

会場／名古屋 ホテルキャッスルプラザ

本年度の国際ロータリー第2760地区の第1回国際奉仕委員長会議が、平成7年9月4日午後2時30分から4時30分まで開催されま

した。出席者は石川ガバナー以下30名の特別出席者と、地区内73クラブの国際奉仕委員長の内、71名のご参加を得て開始されました。



(会議の内容)

司会 地区国際奉仕委員会
副委員長 松原 忠久

(1) 開会の挨拶〈要旨〉

地区国際奉仕委員会
委員長 吉村 卯一郎

国際奉仕の任務は多岐にわたっており、非常に奥が深く去る5月20日の地区協議会では基本的な説明をしましたが、本日は具体的なことにふれてみたいと思います。

青少年交換委員会では、去る8月27日、28日の両日にわたり、帰国した海外派遣留学生、今後派遣予定の候補生、受入留学生ら32名を率いてバスで御殿場へ行き、Y. M. C. A. の東山荘で、オリエンテーションを兼ねた交流会を行いました。本年度は派遣国をアメリカ、カナダ、オーストラリアの従来の三国から、更にヨーロッパへ足を伸ばしたいと考えられています。

世界社会奉仕委員会(W. C. S.)では昨年



度（本年２月）にタイ、フィリピンへ視察を兼ねて寄金贈呈の旅行を行いました。その際、フィリピンの第３８００地区で前年度約束した愛知ロータリー奨学基金の金額が予定金額と異なっているとのことで詰問を受けました。前年度の約束では５００万円を贈呈することになっていたが、諸般の事情で３０６万円しか拠出できませんでした。これについては本年度以降でその埋め合わせの必要に迫られています。W. C. S. の地区資金には限度がありますので、場合によっては皆様方にご協力をお願いせねばならないと思っております。

国際友好委員会はロータリアン同志の親睦活動を通じて、世界平和、世界理解に貢献しようという委員会で、その内容については中野委員長から説明いたします。

(2) ガバナーの挨拶〈要旨〉

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 石川 和 昌

今年度の基本的方針としては、今までのことを一度振り返って、簡素にするところは簡素にしたい。そしてクラブの在り方、今後の計画等について、反省すべき点もあろうかと思うし、また国際奉仕部門の中にもやはり今までのやり方の中で反省せねばならない点もあるかと思えます。

特に青少年問題では、昨年は地区委員の方に大変なご迷惑をおかけしたし、世界社会奉仕では、フィリピンで国際信義にもかかわるようなトラブルがありました。

我々は大変有意義なことを奉仕の中でやっているわけですが、それがともすれば、誤解の中で問題点が生ずるということもあります。国際的には好意を持ってやっても、結果としてそれに反するということがあるので我々としては十分その点を反省しながら、今後対処してゆかねばならないと思います。

青少年交換にしても、我々の理解、クラブ内での推進力というもの若干足りないような感

じもいたします。そういった面については、十分なご理解を賜って今後、将来における反省材料としていただきたい。

本年は皆さん方の一年であり、皆さん方の考えで思い切ったことが出来ることを切に願います。次第であります。

(3) 青少年交換の本年度方針について

地区青少年交換委員会

委員長 林 光 雄

１．青少年交換委員会は、今年度から従来の５名から１名増員となり６名となった。

１．１９９６～'９７年度の派遣学生募集は、７月末締切、８月５日に選考試験を実施、候補生として合格者１４名に通知した。今回は、愛知県、名古屋市の各教育委員会の後援も得て、愛知県立高校１６０校、名古屋市立高校１６校等に案内状を出した。その結果、際立った応募数の増加はなかったが、生徒の質的な向上は図られた。

１．派遣学生の帰国、受入学生の受け入れ等を８月２６日に終えたあと、翌２７日、２８日に御殿場でオリエンテーションを実施した。

１．交換、派遣先の拡大については、現在アメリカ、カナダ、オーストラリアと交換しているが、最近ブラジルからも青少年交換の要請がある。またインドからもたびたび申し入れがある。青少年交換は相互に受け入れる必要がある。その均衡上これまでどうしても従来３ヶ国に限って実施してきたが、ブラジルにしても広大でダイナミックな国であり、非常に文化遺産にも恵まれた国である。是非認識を新たにして、今後とも交換や派遣先を増やしてゆくべきだと考えている。

(4) 世界社会奉仕（W. C. S.）の本年度方針並びにタイ・フィリピン訪問計画について

地区世界社会奉仕委員会

委員長 牧 眞

１．当地区がW. C. S. 活動を始めたのは１０年前で、今年は記念すべき１０年目に当た

る。それまでは当地区の各クラブが海外の相手クラブと自主的にその約7年程前から実施していた。昨年までのドナーションの総額は1億1900万円に及んでいる。特にここ3、4年程前からは平均1600万円程と寄付額は大巾に伸びている。

1. フィリピンへの奨学基金の件については、訪問前の約2ヶ月間、拠出金額の不足についての意思疎通を図り諒解を得たつもりだったが、先方へは真意が伝わっていなかったようである。不足した理由は、ここ2年ほど地区方針として推進していたクラブ対クラブの自主的な活動において、昨年は8クラブが新しく繋がりを持ったため、地区として約150万円の不足額が生じたためであった。国際的な約束は守らなければならないので、今年以降その不足分については補ってゆくようにしたい。

1. 昨年度実行したプロジェクトについて。
フィリピン、タイの2国といっているが、フィリピンの方のプロジェクトは36にも及んでいる。倍近い要望の中から、先方の委員長と折衝して、長年継続のもの、支援を中止すると継続不可能となるものなどを優先した。また昨年度の場合は、蜂谷ガバナーのご要望で、飢餓貧困のプログラムより地球環境保全のプログラム(植林、水質浄化等)を出来るだけ選ぶことにしたが、現実にはそうしたプログラムは少なかった。

1. 視察旅行について 昨年度に続いてタイとフィリピンとの二班に分かれて視察旅行を行う予定で、大体4～5日の日程プランを委員会で決定した。

(5) 国際友好の本年度方針について

地区国際友好委員会

委員長 中野 博 三

1. 海外提携クラブのアンケートについて

これまでのアンケート結果では、1989年には地区62クラブのうち提携しているクラブが31クラブ、未提携クラブが31で、ちょう

ど半々の状況だったが、1995年1月調査の時点では、72クラブのうち44クラブが提携し28クラブが未提携という状況である。

海外クラブとの提携については、最初から提携するのではなく、友好からはじめて年月をかけて提携まで持ってゆく方法と、ロータリー友情交換プログラムの中のクラブ対クラブ訪問者プログラムより繋がりを作った後、正式提携に取り組むという方法がある。

(6) ポリオについて (内容は省略します)

ガバナー 石川 和 昌

(7) 講 評

地区国際奉仕カウンセラー

バストガバナー 福田 浩 三

W. C. S. が始まったのは9年前ということだが、第260地区(愛知県・長野県)が分割されたことから、新地区として本格的にW. C. S. をやろうとしたわけで、実際にはそれ以前もやっていた。私がガバナーの頃は、R.I. からは全世界におけるW. C. S. のプロジェクトを記載した分厚い資料が来て、地区や各クラブではその中の何かのプロジェクトを選びR.I.へ送金していた。やがて現地のクラブと直接にやるようになり、W. C. S. への機運も盛り上がってきたのが9年前のことである。今日では大変立派なプロジェクトが行われている。これは日本が豊かになり、また通信手段も良くなったためと思う。

寄金額と奉仕の質とは関係ないと思うが、話に出たフィリピンでの件などは当然補わなければならない。ただ“I SERVE”を基本とすれば、継続的なW. C. S. 事業についての約束は慎重を期す必要がある。

(8) ホストクラブ会長挨拶

名古屋名北ロータリークラブ会長

横 井 登

(9) 閉会の挨拶

地区国際奉仕委員会

副委員長 松 原 忠 久

インターアクトクラブ海外派遣ハワイ研修報告

日頃はインターアクトクラブの活動に、深いご理解と多大なご支援を賜り心より感謝を申し上げます。

さて、今夏実施致しました第8回インターアクトクラブ海外派遣ハワイ研修のご報告を申し上げます。

今年の参加者は、36名（引率者…ロータリアン2名、教員2名、インターアクター…男子5名、女子27名）で、去る6月24日～25日、7月8日～9日の2回に亘り、事前研修会をもって、海外派遣の目標、心構え、ハワイの知識、チームワーク等々を備え、7月23日地区インターアクト協議会での壮行会及び7月27日名古屋空港での出発式において、石川ガバナーをはじめ、地区役員、インターアクト会員の激励を受けて7月27日ハワイに向けて出発し、多くのかけがえのない経験を積んで8月2日参加者全員無事帰国致しました。

ハワイ・ホノルルでは、市内観光、ショッピングを楽しむとともに、ホームステイ協会のバーバラ・バンセル理事長に、今までの感謝の記念として、オブザーバーの鬼木さんの計らいで用意した大変すばらしい打ち掛けを贈呈しました。

ハワイ・ヒロ市では、市内観光、レインボー滝、ナニ・マウ・ガーデン、壮大なキラウエア

地区インターアクト委員長 坂本 康 信
海外派遣団長 早川 宣 弘
海外派遣副団長 岡山 直 樹
オブザーバー 鬼木 正 男

火山等々の見学及び3泊4日のホームステイ・プログラム—17軒の家庭に1～2名ずつ入り、アメリカの家庭生活を体験、片言の英語、手ぶり身ぶりで一生懸命コミュニケーションをとり、異文化理解、国際交流の時をもちました。

又ホームステイ最後の日の夕方、公園において、Pot-luk Party を開催—ホストファミリー全家族と日本参加者との交流会としてすすめられ、日本からは、坂本地区委員長の挨拶、インターアクトメンバーによる花笠音頭、東京音頭等の踊りを紹介、特に東京音頭にはホームステイ先の家族の方にも共に踊りに加わり、楽しい交流の輪が広がった。更にスキヤキソング、パフ等の合唱も共に歌い、最高にもりあがりました。

このように短い期間ではありましたが、貴重な体験、感動を与えられ、最後の日ホームステイ家族との別れでは、お互いに抱き合って別れを惜しみ、生徒達は日本へ帰りたくない言葉を連発し、海外研修の成果の現われでありました。

尚、坂本、鬼木両ロータリアンは、ヒロ市のスティーブン・K・山城市長を表敬訪問し、日本文化の打ち掛けを贈呈し、交流をはかりました。

このような素晴らしい体験ができましたことは、石川和昌ガバナーをはじめ各ロータリークラブの皆様方、地区インターアクト委員の皆様方、又各インターアクトクラブの顧問、会員皆様のご理解とご協力・ご支援の賜物であり、ここに深甚なる感謝の意を申し上げます。

誠に有難うございました。



ホノルルにて記念写真

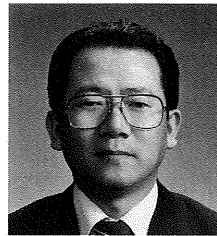
『2000年までにポリオ根絶の世界を目指す』

ポリオ・プラスはまだ終わっていません。ポリオは制圧するだけでなく、根絶しなければならないのです。

1985年以来、全世界のロータリアンは一つの夢……世界中の総ての子供達を残酷で、障害をもたらす病気、ポリオから守るという夢の実現に向かって努力して来ました。2億4千万ドルを超える資金を拠出したロータリアンのお蔭で、いかなる開発途上国に対しても5年間ワクチンを供給し、子供達を守ることができるようになりました。

今日、何百万という子供達がポリオ・プラスのお蔭で元気に暮しています。しかし、ポリオの病原ウイルスが一掃されない限り、将来の子供達は危険にさらされることになります。

全ての国でポリオがなくなるまでは、どの国



地区財団ポリオ・プラス
(小)委員会

委員長 黒谷 尚弘

も安心はできません。ウイルスが「持ち込まれ」て流行が始まる恐れは十分にあります。アフリカ、アジア、東ヨーロッパ、中東の一部では、引き続きポリオの発症が報告されています。

本年度の目標『慈愛の奉仕』はまさしくポリオ根絶へのスタートを意味しています。将来を託す子供達の安全のためにポリオ・プラスに対する変わらぬご理解とご協力をお願い致します。

*** ポリオ・プラスの現況 ***

1985年、ロータリーは、ポリオのない世界を築こうとする世界的な努力を増進するための媒体としてポリオ・プラスを発足させました。5年計画の下に、1年につき1億の子供にワクチンを投与するというこの最初の公約は十分達成され、ロータリーは至るところでポリオの撲滅に貢献しました。

- キャンペーンは大成功でした！米貨1億2千万ドルが期待され、米貨2億4千600万ドル以上が拠金されました。
- 1994年7月現在、米貨2億ドル以上が、ポリオ・プラス補助金を通じて、103カ国の予防接種、社会動員化、撲滅活動に充当されました。
- 西暦2000年…ポリオ最後の症例に対し世界保健機構（WHO）により設定された目標年度。
- 西暦2005年…ポリオが一掃された世界で、ロー

タリーがその創立100年を祝賀することを願う年度。（最後のポリオの症例が確認された後、世界からポリオが一掃されたことが証明されるまでには、3年から5年を要します。）

- 1993年現在、世界の子供たちの80パーセント以上がポリオおよびワクチンで予防できる伝染病の予防接種を受けています。しかし国によっては1995年に入り普及率が低下した所もあります。
- 1993年度のポリオの発生数は11万件と見積もられています。（1985年の症例は50万件でした。）
- 1993年のポリオによる死亡数は1万1千人と見積もられています。（1985年の死亡数は5万人でした。）
- 1993年には143カ国からポリオが一掃されました。（1985年には74カ国でした。）

●106ヵ国が1991年から1993年までポリオの発生症例のなかったことを報告しています。

ロータリーの活動とラテン・アメリカにおける劇的な予防接種の進展に鼓舞され、世界保健機構（WHO）の加盟国は、1988年、西暦2000年までにポリオを根絶することを決議しました。人間がかつて根絶した病気は天然痘だけです。

ポリオの撲滅の真の意味はどのようなものでしょうか？それは子供達をポリオのウイルスから守るだけでなく、それを地球上から全滅させることです。国際ポリオ撲滅証明委員会によりポリオの一掃が確認されれば、予防接種は、もはや必要ではなくなります。ポリオ最後の症例をなくするための目標年度は西暦2000年です。また撲滅の証明は西暦2005年までにできること

が予測されています。

ポリオ撲滅に必要な段階は次の通りです。

- 十分なワクチンで子供たちに援助の手を差し伸べることができるような定期的な予防接種プログラム。
- 疑わしいポリオの症例を発見し、追跡し、見通しを図るための監視体系。
- 野生ポリオ・ウイルスの蔓延を防ぐため5歳以下の幼児にワクチンを投与し、4週間乃至8週間後繰り返して行う全国予防接種の日。
- ウイルスの流布を制圧するために疑わしいポリオの症例の発生した近隣地域の子供達に対するウイルスの掃射、または戸別訪問を通じての集中的予防接種。
- 全世界から野生ウイルス一掃の証明。

(R.I.資料より抜粋)

ロータリー文庫通信 (第97号)

最近5年間の地区大会シンポジウムから

その3 (1993-'95)

- ◎「草の根国際交流を考える」 D. 2800 30頁
草野 厚・山口吉彦・藤沢秀光・三井玉男 他4名
- ◎「ロータリー女性会員の現況」
D. 2560 12頁
三條千代子・太田啓子 他3名
- ◎「若者たちの眼、世界の中の日本」
D. 2790 27頁
佐藤道輔・木村 正・松戸宏予 他2名
- ◎「美しい街づくり」 D. 2630 20頁
中北喜得・佐藤康一 他2名
- ◎「米山奨学生からみた日本」 D. 2530 16頁
ホサイン モハモド モンゾロ・謝 育媚 陳 淑真 他3名
- ◎「ロータリー問答～その心を探る」
D. 2780 17頁 森 三郎・神崎正陳

- ◎「自然と人との共生」 D. 2630 21頁
吉村作治・木村政生・大竹一友・伊庭 洗
- ◎「ロータリーに初心を求めて」
D. 2690 17頁
原 久義・多久二郎 他2名
- ◎「社会へのおもいやり
ー企業のボランティアサービスー」
D. 2730 27頁
田代正美・石田円佳・安藤収自
- ◎「ロータリーはいま…」 D. 2740 20頁
富永雄幸・山道昭彦・森 三郎・逸見嘉彦

[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]

注：氏名＝パネリスト

ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園 2-6-3abc 会館 7 階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

特別寄付報告書（1995年8月分）

財団法人 ロータリー米山記念奨学会
理 事 長 末 永 直 行

2760地区

ク ラ ブ 名	クラブ収入金額	個人収入金額	法人収入金額	合 計	件 数
あ ま	0	180,000	0	180,000	4 件
安 城	0	1,300,000	0	1,300,000	26 件
碧 南	0	300,000	0	300,000	1 件
刈 谷	0	600,000	0	600,000	2 件
名 古 屋	0	120,000	450,000	570,000	19 件
名古屋名東	0	30,000	0	30,000	1 件
名古屋南	0	1,290,000	0	1,290,000	53 件
名古屋中	0	1,890,000	0	1,890,000	59 件
名古屋大須	200,000	0	0	200,000	1 件
名古屋栄	0	570,000	0	570,000	19 件
西春日井	0	1,200,000	0	1,200,000	4 件
岡 崎	140,400	90,000	0	230,400	7 件
岡 崎 東	9,256	180,000	0	189,256	3 件
岡崎城南	0	50,000	0	50,000	1 件
岡 崎 南	0	20,000	0	20,000	1 件
瀬 戸	80,000	0	0	80,000	1 件
東 海	0	300,000	0	300,000	1 件
豊 橋 北	12,000	0	0	12,000	2 件
豊 田 西	0	240,000	0	240,000	8 件
津 島	0	300,000	0	300,000	1 件
地 区 合 計	441,656	8,660,000	450,000	9,551,656	

第2760地区ニュース・その他

第2回地区諮問委員会(9月9日)開催

[協議事項]

1. 1994～'95年度 地区会計決算(案)承認の件
2. 1997～'98年度 国際ロータリー第2760地区
ガバナー候補推薦の件
3. 1996～'97年度 (松本) 分区代理候補推薦
の件
4. 1995～'96年度 地区大会決議事項(案)及び
意義ある業績選考の件
5. 1995～'96年度 各分区 I.M.開催の日程と
アドバイザー委嘱の件
6. 地区ロータリー財団ポリオ・プラス(小)委
員会設置の件
7. ロータリー財団奨学生選考の今後の方針に
ついて

[報告事項]

1. 地区大会について(準備状況、予算(案)、
地区企画委員会)
2. 大会の講演について
3. 米山記念奨学会理事会及び評議会報告
4. 地区米山記念奨学会委員会について
5. 1996～'97年度 R.I.D-2760ガバナーノミニー
事務所開設について
6. 地区主要会議日程(9月～12月)
7. 第3ゾーン会員増強セミナーの結果について
8. その他

地区財団ポリオ・プラス(小)委員会発足

委員長	黒谷 尚弘(豊橋RC)
副委員長	長屋 孝美()
委員	石原 邦雄(豊橋ゴールデンRC)
〃	岩瀬 淳一郎(豊川RC)
〃	小笠原 喜好(新城RC)

(財)米山梅吉記念館新理事に 蜂谷パストガバナー就任

蜂谷弘道パストガバナーが(財)米山梅吉記念館
新理事に就任され、今年度第1回役員会が8月
26日に開催されました。

ロータリー適用相場変更のお知らせ

ロータリー適用相場は本年10月1日から総て
の振込に対する適用相場のロータリーレートを
1ドル96円(現行88円)に変更されます。

事務局移転のお知らせ

犬山ロータリークラブ

新事務局住所(業務開始 平成7年10月1日～)

〒484 犬山市大字犬山字西畑22-5

TEL (0568) 61-5219 FAX (0568) 61-5523

地区大会にバッヂを付けて参加しましょう!

ポールハリスフェロー、マルチプルフェロー、ベネファクター、米山功労
者の皆さんは地区大会当日、胸にバッヂを付けて参加されるようお願い申
し上げます。顕彰コーナーで記念品をさし上げます。

地区ガバナー 石川 和 昌

第2760地区ニュース・その他

豊田西RC創立25周年記念例会

会長 為末勝清

豊田西RC創立25周年記念例会を、平成7年8月21日、ホテルフォレストにて豊田市・加藤正一市長殿、ガバナー石川和昌殿、加藤分区分代理殿をお迎えして会員一同喜びのうちにを行いました。昭和45年8月24日、ガバナー(故)伊藤次郎左衛門氏の要請で、豊田ロータリークラブがスポンサーとなり、特別代表(故)渡辺末次郎氏、ガバナーエイド寺田勝一氏のご指導のもと初代会長柏木正雄氏・幹事に大竹千明氏を中心に五里霧中、29名のチャーターメンバーで創立いたしました。ロータリーの原点である会員扶助を大きな目的とし、90年前シカゴの町から起こったポールハリスの思いである「職業を通じて社会に奉仕する」という思いに帰り5年余後に迫り来る21世紀に向かって新たな希望の旅立ちの年にしたいと思います。

【創立25周年記念事業】

- ・阪神大震災義援金100万円寄贈
- ・豊田市立図書館・豊田西ロータリー文庫
記念図書贈呈
- ・豊田市美術館・記念植樹
- ・コロomboミッドシティRC(スリランカ)
救急車1台・医療器具ネプライザー2基贈呈
- ・ロータリー財団へ20万円寄贈



記念例会で挨拶する石川ガバナー

新ポールハリス・フェロー 8月分

氏名	所属R.C.
金子功男	(安城)
竹内裕恭	(〃)
近藤和夫	(一宮)
二宮鈴吉	(豊田三好)
兵藤正夫	(名古屋東南)
小島清路	(東海)
谷津義雄	(犬山)
長谷川林平	(名古屋中)
法亢盛宣	(〃)
楠吉史	(〃)
真野清	(〃)
長瀬傳郎	(〃)
鈴木木強	(〃)
島村導弘	(〃)
関口松太郎	(〃)
吉田茂	(〃)
平野和一	(刈谷)
鶴田欣也	(名古屋南)
青山孝雄	(〃)
加藤藤猛	(〃)
村松貞夫	(〃)
川井周造	(〃)
異相武憲	(〃)
川澄傳	(安城)
太田光将	(豊山一城北)
小原久和	(〃)
小塚弘之	(〃)
杉野隆幸	(〃)
大野龍雄	(〃)
水谷政義	(新城)
中村仁	(蒲郡)
梅村正裕	(豊田西)
余郷利彦	(津島)
矢田潔	(〃)

計報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

9月30日 鈴木 秀夫(豊田東RC)

10月5日 大澤 喬圭(名古屋北RC)

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数			分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'95年 7月1日	当 月	増 減					'95年 7月1日	当 月	増 減
尾張第一分区	知 多	98.54	5	49	46	－ 3	西尾張分区	あ ま	100.00	3	103	105	2
	半 田	95.00	5	73	73			尾 西	97.22	4	60	63	3
	半 田 南	99.60	4	68	68			一 宮	99.44	4	91	92	1
	東 知 多	98.13	4	58	57	－ 1		一 宮 北	98.22	4	83	85	2
	常 滑	99.03	3	69	69			稲 沢	99.61	4	64	64	
	東 海	98.83	4	64	66	2		西 春 日 井	97.99	4	65	65	
	計	98.19	－	381	379	－ 2		尾 張 中 央	100.00	4	50	50	
名古屋第一分区	名 古 屋	96.93	4	225	236	1 1	東三河分区	津 島	100.00	3	86	90	4
	名 古 屋 南	98.13	4	121	121			一 宮 中 央	97.39	4	68	69	1
	名 古 屋 港	100.00	4	128	130	2		計	98.87	－	670	683	1 3
	名古屋瑞穂	100.00	5	100	100			渥 美	93.07	4	63	66	3
	名 古 屋 中	98.69	3	157	160	3		蒲 郡	96.09	3	79	80	1
	名 古 屋 西	98.03	5	148	148			奥 三 河	90.50	5	39	39	
	名古屋大須	99.38	5	95	98	3		新 城	96.83	4	63	63	
	名古屋名南	100.00	4	81	81			田 原	98.88	4	72	73	1
	名古屋名駅	98.53	5	97	97			豊 橋	98.88	4	130	128	－ 2
	名古屋東南	99.67	4	81	82	1		豊橋ゴールドン	100.00	3	83	83	
	名 古 屋 栄	99.57	3	76	77	1		豊 橋 北	99.77	4	114	116	2
	名古屋西南	98.38	5	46	52	6		豊 橋 南	98.30	3	87	87	
	計	98.94	－	1,355	1,382	2 7		豊 川	99.62	4	76	81	5
名古屋第二分区	名古屋千種	97.35	4	67	68	1	西三河第一分区	豊 川 宝 飯	97.77	4	68	71	3
	名 古 屋 東	98.85	3	115	118	3		田原バツフィク	95.00	5	66	73	7
	名 古 屋 北	99.77	4	114	115	1		計	97.06	－	940	960	2 0
	名古屋名北	100.00	4	75	76	1		岡 崎	100.00	4	111	114	3
	名古屋名東	98.55	4	67	69	2		岡 崎 東	100.00	4	81	80	－ 1
	名古屋守山	96.03	4	89	90	1		岡 崎 城 南	99.35	4	78	79	1
	名古屋昭和	96.08	3	67	69	2		岡 崎 南	99.67	3	111	113	2
	名古屋和合	100.00	4	112	115	3		豊 田	98.98	4	97	97	
	計	98.33	－	706	720	1 4		豊 田 東	100.00	4	92	92	
東尾張分区	犬 山	100.00	4	78	83	5	西三河第二分区	豊 田 西	100.00	3	102	105	3
	岩 倉	92.07	4	44	44			豊 田 三 好	98.85	3	29	29	
	春 日 井	100.00	4	84	84			計	99.61	－	701	709	8
	小 牧	95.71	4	70	70			安 城	95.24	3	95	93	－ 2
	江 南	98.92	4	72	73	1		碧 南	99.70	4	81	86	5
	名古屋空港	98.99	3	70	70			一 色	100.00	5	53	54	1
	尾 張 旭	100.00	4	68	68			刈 谷	100.00	3	88	92	4
	瀬 戸	100.00	4	80	80			知 立	99.53	4	55	56	1
	瀬 戸 北	99.62	4	68	69	1		西 尾	99.30	4	79	79	
	豊山－城北	99.59	4	59	61	2		西尾KIRARA	99.42	3	62	62	
	計	98.49	－	693	702	9		高 浜	100.00	4	53	52	－ 1
								計	99.15	－	566	574	8
地区内クラブ数				73RC	'95.7.1 会員数		6,012名	増 加 会 員 数		107名			
					当月末会員数		6,109名	減 少 会 員 数		－10名			
					当月平均出席率		98.59%	差引純増会員数		97名			